

社団法人ゴルファーの緑化促進協力会
平成 23 年度事業報告書

自 平成 23 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 10 月 2 日

1. 事業の概況

平成 23 年 9 月、当会はお陰をもちまして創立 35 周年という節目を迎えることができました。また、9 月 20 日付をもって内閣総理大臣より「公益社団法人」の移行認定を受け、10 月 3 日に移行登記をいたしました。これも偏に会員ゴルフ場をはじめ関係皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げる次第です。

今年、3 月 11 日に発生した東日本大震災および福島第一原子力発電所の事故は、我が国の経済、社会全般に大きな影響を及ぼしております。東北・関東エリアの多くのゴルフ場が被害を被り、ゴルフ場を取り巻く経営環境も大変厳しい状況になりつつあります。

このような中、当会は被災地の復興支援事業を重点に据え、現地関係者と謀りながら復興事業への協力を推進しております。

また、創立 35 周年記念事業として 12 月 5 日に開催を予定しております記念シンポジウムの準備を鋭意進めてまいりました。

今年、国連では前年の「国際生物多様性年」に引き続き「国際森林年」として、地球規模での生物多様性ならびに環境保全に対する森林の役割が更に重視されており、我が国でも全国で森林保護・保全への取り組みが実施されておりますが、当会も従来からの公共施設の緑化・先駆的な環境保全事業の着実な遂行はもとより、緑化貢献に対するゴルファーの顕彰施策の充実や、環境や健康などゴルフとゴルフ場の持つ多面的な社会貢献の周知などにも努めました。

これも偏に、全国の多くのゴルファー・ゴルフ場をはじめ、環境省、林野庁などの関係省庁、都道府県、国土緑化推進機構、各県緑化推進委員会、河川環境管理財団、国立公園関係団体、九州緑化促進協力会、賛助企業、ゴルフ関連団体など皆様方のご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

2. 会員増等への取組み

(1) 会員ゴルフ場の維持・拡大

厳しい事業環境が続く中、当会の理事をはじめ関係各位の積極的なご支援を得て、ゴルフ場訪問などによる入会勧奨を行うとともに、会員の維持・継続にも努めてまいりましたが、平成 23 年 10 月 2 日時点では、残念ながら新規入会はありませんでした。

(今までご協力いただいたゴルフ場は累計 372 コース、巻末資料 1 参照)

(2) 賛助会員・寄付金の拡大

多くの賛助会員(巻末資料 2)や寄付会社等からご支援をいただいております。また、ホールインワンを達成されたゴルファー、グリーン&エコ「熱烈ゴルファー」賛同者、永年緑化貢献「エージシュート大賞」受賞者、SANYU-SHA. CLUB(大阪)などゴルファーのサークルからもご寄付をいただきました。改めてお礼申し上げます。

3. 地方緑化事業

当会の主力事業として、下記の通り学校等の社会公共施設の植樹に加え、植栽樹木のメンテナンス、花壇の整備など各地域で住民に喜ばれる緑化環境の整備を行いました。

(1) 緑化協力金の配分

ア. 平成 23 年 9 月（第 69 回配分、平成 23 年 1～6 月醸金分）に地方緑化事業費として合計 33 百万円を表 1 の各団体に配分しました。

[表 1] ゴルフ場の所在区分による地方緑化事業費の配分(委託)先 等

ゴルフ場の区分	緑化協力金の配分(委託) 団体	委託事業の内容と地方緑化事業費配分額 合計 32,983 千円
①一般ゴルフ場	都道府県緑化推進委員会等	公立の小中学校、病院、福祉施設などの社会公共施設への植樹 16,406 千円
②国立公園内ゴルフ場	各地域の国立公園協会等	国立公園等の環境・美化緑化活動 2,089 千円
③河川敷ゴルフ場	河川環境管理財団	協力ゴルフ場のある水系の川辺の植樹 河川環境の美化緑化及び保全に関する調査研究の助成 14,488 千円

イ. 昭和 52 年度の第 1 回から第 69 回までの地方緑化事業費の累計は 6,276 百万円となりました。

(年度別推移及び都道府県等別配分状況、巻末資料 3 及び資料 4)

(2) 地方緑化事業

当会が配分した前項の緑化協力金に基づき、各都道府県緑化推進委員会、各国立公園協会、財団法人河川環境管理財団等は、新たに学校・老人福祉施設などの植樹を行っております。

尚、個々の植樹に際しては、会員ゴルフ場名を記載した標識の設置や、児童・学校長等から協力ゴルフ場へのお礼状の送付を各緑化推進委員会を通じてお願いするなど、地域社会とゴルファー・会員ゴルフ場との連帯意識の醸成に努めました。また、社会環境の変化に応じるため植樹以外にも植栽樹木のメンテナンス、花壇の造成、花の種の配布など地域で喜ばれる緑化・環境整備活動などを行っております。

4. 全国緑化事業

前項の「地方緑化事業」以外の全国的視点に立って実施する環境緑化・環境保全事業を「全国緑化事業」と称しておりますが、実施した主なものは次のとおりです。

(1) 緑化事業

ア. [松枯れ対策] 「松くい虫防除対策」として、東大千葉演習林で行う抵抗性松苗木の開発・改良の研究を助成するとともに、苗木を希望される全国の会員ゴルフ場や公的な場所などに配布します。

イ. [苗木など配布] 抵抗性松苗木以外を希望される全国の会員ゴルフ場や公的な場所などに苗木、種子・球根などを配布します。

(2) 特別事業

- ア. [校庭の芝生化] 普及啓発の一環として、子供たちに芝生を知ってもらう小冊子『芝生キッズくらぶハンドブック』を発行、学校、ゴルフ関係者などに配布、ご活用いただくなど好評を得ています。
- イ. [安全対策と景観保持の樹木管理技術] 名木の倒壊などの原因となる木材腐朽菌病（キノコ）について、全国の樹木医などの2年間にわたる協力を得て、本邦初の「緑化樹木腐朽病害ハンドブック」を発刊、国指定天然記念物の樹木保護等にご活用いただくなどしてまいりましたが、そのノウハウの一層の普及を図るため、平成22年度は大阪府河内長野市の寺ヶ池公園で現地研修会を開催しました。この現地研修会は、埼玉県上尾市の八枝神社、茨城県城里町、福岡市鳥飼八幡宮、鎌倉市建長寺に引き続き5回実施してきましたが、今年はゴルフ場での実施を計画しています。

【GGG創立35周年記念事業】

- ウ. [東日本大震災復興支援事業]
激害3県(岩手・宮城・福島)を中心に該当各県の関係者と具体的な内容を検討し、5ヶ年の事業計画を策定、実施します。
現在までに福島県で2件の復興事業計画が決定し、開催に向け準備を進めています。(①「避難された皆さまに緑の潤いを」、②「ふるさとの森 絆づくり」)
- エ. [「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言の制定と発表]
創立35周年記念シンポジウムの開催を計画しています。
「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言「ゴルフ場は生きものの里山」を制定、創立記念シンポジウムで宣言を発表します。
- オ. [ゴルフ場の生物多様性調査と管理技術の普及啓発]
ゴルフ場の生物生息状況の現地調査、世界の事例研究等により、生物多様性、生物生息環境の面からのゴルフ場管理マニュアルを作成。「生物多様性を保全するゴルフ場」宣言を推進するゴルフ場の指針にさせていただきます。
- カ. [ゴルファーの緑化貢献の顕彰] GGGの会員ゴルフ場でのプレーを通じて緑化事業に貢献して頂いたゴルファーの方々をゴルフ場を通じて顕彰する制度としてスタートした「年間最多プレー『緑化貢献大賞』」ならびに「永年緑化貢献『エージシュート大賞』」を継続し、大変ご好評をいただいております。

(3) 賛助事業

- ア. [自然保護NGOへの助成] 当会の資金により設立された「公益信託自然保護ボランティアファンド」を通じ「NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク」など自然公園内の緑化・環境整備等を実施しているNGO等26団体への助成を行っています。(巻末資料5)
昭和61年10月のファンド創設以来の支援は、延べ約415件、累計約147百万円になっています。
- イ. [環境団体への支援] 「WWFジャパン」など環境保護団体の活動にも引き続き支援を行いました。
- ウ. [環境緑化行事への協賛等] 環境省・林野庁・都道府県など関係省庁等

が企画する「巨木を語ろう全国フォーラム」、「みどりの感謝祭」、「森林と市民を結ぶ全国の集い」など、各種行事に協賛しました。

5. その他の活動

(1) 事業PR等

- ア. ゴルフ業界誌「ゴルフ場セミナー」「ゴルフマネジメント」やゴルフフリーマガジン「ゴーゴル」などでの事業活動の広報・PRを積極的に実施しました。
- イ. 当会やgolfer・ゴルフ場の行っている環境貢献活動を一般golferなどへ周知する活動として、当会の主な緑化事業等を新聞・テレビ・雑誌などに取り上げていただくべく、適宜報道資料を媒体各社に提供するなどパブリシティ活動を実施しております。
- ウ. 機関誌「緑の通信」を発行し、全国のゴルフ場、関係団体等へ配布しました。また、ジャパンゴルフフェアなどの会場でパネル展示等によるPR活動を行いました。
- エ. ホームページ (<http://www.ggg.or.jp/>) については、『新着情報・活動報告(プレスリリースなど)』のページを充実したほか、『グリーン&エコ支援「熱烈golfer」募集』を継続しました。
- オ. 環境大臣による会員ゴルフ場の表彰の実施をお願いしてまいりましたが、平成23年度もラフォーレ修善寺&カントリークラブが「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰を受賞されました。
- カ. 協力ゴルフ場に対する各県による顕彰を繰り返し要請してまいりましたが、一例ですが、平成23年5月に(社)千葉県緑化推進委員会から千葉カントリークラブが感謝状を贈呈され、また、茨城県でも茨城ゴルフ倶楽部など5コースが、緑化功労者の感謝状を受けています。

(2) ゴルフ界活動への参画

日本のゴルフ界全体が取り組む「震災復興支援グリーン・ティー・チャリティー」などの諸事業にも積極的に参加しています。

[資料]

平成 23 年度各種会議の開催状況
(平成 23 年 4 月 1 日～10 月 2 日)

1. 理事会・総会の開催状況

(1) 第 1 回理事会

日 時 平成 23 年 5 月 20 日 (金) 12 : 30～13 : 00

場 所 国際文化会館 第 2 会議室

出席数 出席者 12 名、委任状出席 3 名、計 15 名

監事 1 名 (理事総数 15 名)

議 事

- ① 1. 平成 22 年度事業報告の承認について
2. 平成 22 年度決算の承認について
- ② 1. 平成 23 年度事業計画の決定について
2. 平成 23 年度収支予算の決定について
- ③ 定款の一部変更について
- ④ 役員を選任について
- ⑤ 公益社団法人移行認定申請に関わる定款 (案) 及び規程 (案) の一部変更について
- ⑥ 新会員の入会承認について

(2) 通常総会

日 時 平成 23 年 5 月 20 日 (金) 13 : 00～14 : 00

場 所 国際文化会館 第 2 会議室

出席数 出席者 17 名、委任状出席 105 名、計 122 名

(会員総数 152 名)

議 事 (第 1 回理事会に同じ)

2. 常任理事会 (旧運営委員会) の開催状況

第 1 回 平成 23 年 6 月 23 日 (木)

議 事

- ① 平成 23 年 4・5 月の月次処理
- ② 公認認定申請の状況について
- ③ 平成 23 年度緑化事業の経過報告
- ④ 平成 22 年度自然保護ボランティアファンドについて
- ⑤ その他

第2回 平成23年8月5日(金)

議 事

- ① 平成23年6月の月次経理
- ② 公益認定の進捗状況について
 - ・公益社団法人の設立日
 - ・設立の伴うスケジュール
- ③ 東日本大震災被災各県視察の状況について
 - ・各県緑化推進委員会
 - ・会員ゴルフ場
- ④ 会員ゴルフ場訪問(関東)の状況について
- ⑤ その他

第3回 平成23年9月9日(金)

議 事

- ① 平成23年8月の月次経理
- ② 平成23年度上期(第69回)緑化協力金の配分
- ③ 公益社団法人設立(移行登記)について
 - ・設立に伴うスケジュール
 - ・設立に伴う関連経費
- ④ 東日本大震災被災各県の復興支援について
- ⑤ 平成23年度ブロック別緑化推進連絡協議会について
- ⑥ 創立35周年記念事業シンポジウムについて
- ⑦ その他